

自社業況は停滞気味に推移 ～小売業で明るさも～

本所は、5月下旬から6月上旬にかけ経営経済動向調査（4～6月期）を実施し、その調査結果をまとめた。なお、2007年4～6月期のBSI値は、1～3月期の状況を基準に「プラス」「マイナス」で評価したもの。

（注）同調査は、年4回実施。718社中517社から回答を得た（対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業）。またBSI値とは、景気全般の見通しについて強気、弱気の度合を示し、プラスは「強気」「楽観」、マイナス（）は「弱気」「悲観」を意味する。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

国内景気動向

4～6月期のBSI値は、6.8と上昇基調を続けた。業種別に見てもほぼ全業種にわたって、好調な国内景気と認識している。また7～9月期のBSI値は3.3、続く10～12月期は10.0となっており、引き続き上昇基調で推移する見通しとなっている。

企業経営動向

自社業況（総合判断）

4～6月期のBSI値は、2.4（前期実績 6.0）とマイナス幅が縮小した。業種別に見ると、季節的要因から旅館・ホテル（31.0）や料理・飲食（30.8）など一部の業種が牽引したものの、繊維製造業（30.5）、非鉄（23.7）など多くの業種でマイナスとなった。

今後の7～9月期は、2.8と停滞するものの、10～12月期には年末需要を背景に10.9と上昇に転じる見通しとなっている。

自社業況（総合判断）は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高

4～6月期のBSI値は、1.4と若干の悪化傾向が見られた。業種別では、ゴールデンウィーク中の入浴者数が好調だったのを受け、旅館・ホテル（42.5）、小売業（20.6）など一部の業種で大幅な増加となったが、繊維製造業（24.0）、窯業・土石（20.8）など多くの業種が減少と回答し、総合的にマイナスとなった。

2. 製・商品・サービス・請負価格

4～6月期のBSI値は、0.8とほぼ横ばいに推移した。業種別では、多くの非製造業で上昇となったが、建設業（11.3）、繊維製造業（10.9）などで下降した。

3. 経常利益

4～6月期のBSI値は、5.2と引き続き減益傾向で推移した。大企業・中小企業ともマイナスとなっており、受注・売上不振や過当競争に加え、最近の原材（燃）料高などが影響していると思われる。

4. 所定外労働時間

4～6月期のBSI値は、0.5と横ばい基調で推移した。特に、需要期に当たった観光関連業種では、旅館・ホテル(33.4)や運輸・倉庫業(12.5)などで増加したものの、非鉄(18.4)や機械金属卸(16.7)などで減少となった。

5. 製・商品在庫

4～6月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が75.9%とおおむね適正水準で推移したが、繊維関係業種や出版・印刷などで過剰感が見られた。今後、繊維製造業で過剰感が残るものの、繊維製品製造業や出版・印刷業などは過剰感がやわらぐ見通しとなっている。

6. 資金繰り

4～6月期のBSI値は、1.5と横ばい基調で推移した。業種別では、旅館・ホテル(16.7)など主にサービス業で改善したが、大幅に悪化した鉄鋼(31.3)をはじめ多くの業種で悪化した。

当面の経営上の問題点

第1位の「受注・売上げ不振」(43.5%)に続いて、第2位に「原材(燃)料高」(32.5%)第3位に「過当競争」(30.0%)となった。なお、今回調査で第2位となった「原材(燃)料高」は、前回調査の第4位。

雇用人員と設備投資計画(年1回6月時点調査で実施)

雇用人員

4～6月期のBSI値は、7.1(前年度比)と増加傾向で推移した。事業拡大に伴った人員増強や販売力強化など、積極的な理由が目立ったほか、技術継承のための人員雇用という理由も見られた。

設備投資計画

2007年度のBSI値は、2.0(前年度比)と増額含みの計画となっている。改修工事や設備の更新という理由のほか、新規事業の立ち上げや新規設備の導入など積極的な理由も多数見られた。

B.S.I.値の総括表		実績		予想			
		2007年4～6月期		2007年7～9月期		2007年10～12月期	
国内景気動向		6.8		3.3		10.0	
京都企業の経営動向	自社業況(総合判断)	▲ 2.4		▲ 2.8		10.9	
	1. 生産・売上高、工事施工高	▲ 1.4		▲ 3.3		11.9	
	2. 製・商品・サービス・請負価格	0.8		▲ 2.7		1.0	
	3. 経常利益	▲ 5.2		▲ 5.8		7.5	
	4. 所定外労働時間	▲ 0.5		▲ 3.4		8.5	
	5. 製・商品在庫	8.4		5.8		3.6	
	6. 資金繰り	▲ 1.5		▲ 3.0		1.1	

自社業況(総合判断)		実績			予想					
		2007年4～6月期			2007年7～9月期			2007年10～12月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲ 2.4	25.5	30.2	▲ 2.8	18.6	24.2	10.9	34.1	12.4
規模別	大企業業	▲ 0.4	26.3	27.1	6.8	29.3	15.8	14.9	37.4	7.6
	中小企業業	▲ 3.1	25.2	31.3	▲ 6.2	14.8	27.2	9.5	33.0	14.0
業種別	製造業	▲ 5.6	24.7	35.8	▲ 0.4	20.9	21.6	9.6	32.5	13.3
	卸売業	▲ 3.8	19.4	26.9	▲ 7.5	11.9	26.9	7.5	29.9	14.9
	小売業	11.8	35.3	11.8	5.9	23.5	11.8	17.7	35.3	0.0
	建設業	▲ 20.0	10.0	50.0	▲ 5.0	13.3	23.3	3.4	26.7	20.0
	不動産業	▲ 7.9	5.3	21.1	▲ 5.3	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3
	運輸・倉庫業	10.8	32.2	10.7	▲ 7.2	7.1	21.5	17.9	39.3	3.6
	サービス業	11.6	41.0	17.8	▲ 6.9	24.7	38.4	19.5	50.0	11.1